

令和5年度 福井市清水北小学校スクールプラン

＜福井市学校教育目標＞
「郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成」

＜学校教育目標＞
豊かな心で 進んで学ぶ たくましい児童の育成

＜清水中学校区研究主題＞
「ふるさとに学び、
未来につなげる子どもの育成」

＜保護者・地域の願い＞
・明るいあいさつができる子
・思いやりのある優しい子
・自分で考え行動する子

＜めざす児童像＞
○すすんで学ぶ子
○思いやりのある子
○がんばりぬく子



＜めざす教師像＞
○子供に希望を与える教師
○わかる授業に努める教師
○仲間・子供とともに歩む教師
○家庭・地域と連携する教師

＜児童の実態＞
・明るく元気に活動する
・与えられた課題に真面目に取り組む
・自己肯定感・自己有用感が低い
・自分で考えて行動する力が弱い

＜教師の願い＞
・夢や希望をもち、目標に向かって努力する子
・規範意識をもち、互いに認め協力し合える子
・自分で考え、進んで行動する子

研究主題 「自ら考え ともに学び合う子の育成」

重点目標

確かな学力

- ◎自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成
- 基礎学力の向上

豊かな心

- ◎お互いを認め思いやる心の醸成
- 自己肯定感の向上

健やかな体

- ◎基本的生活習慣の定着
- めあてをもって体力の向上を図り、健康に生活しようとする児童の育成

地域「清水北」に根ざした学校

- ◎学校・家庭・地域の連携による、信頼される学校づくり
- 学校や地域に愛着をもつ児童の育成

具体的な取組

- ①みのりタイムを活用した基礎学力の定着、音読や読書の実践
- ②課題設定の工夫や対話が生まれる場の設定を重視した、深く学び合う授業の実践
- ③ユニバーサルデザインを意識した分かる授業と個別支援の充実
- ④タブレットの有効活用

- ①進んであいさつする態度を育成する手立ての工夫
- ②振り返りや互いのよさを認め伝え合う場の設定と活用
- ③全員面談や、構成的グループエンカウンター等の実施
- ④思いやり週間の実施や人権教育・道徳教育の推進による、いじめや不登校等未然防止への取組

- ①児童にめあてを意識させる運動（授業・行事・業間活動等）の取組
- ②基本的生活習慣や健康づくりの意識定着をめざすチェック表の活用
- ③家庭における「我が家のスマートルール」の設定と活用
- ④情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育の充実

- ①豊かな自然や、地域の人たちとの関わりを重視した体験活動の充実
- ②「夢へのパスポート」等を活用したキャリア教育の推進
- ③地域や機関との連携推進
- ④学校だより・学年だより・ホームページ等での情報発信

数値目標

- ★自分の考えを進んで発表する児童 80%以上
- ★学び合いを意識した授業を実践した教師80%以上

- ★学校・地域等で進んで挨拶する児童 80%以上
- ★学校に通うのが楽しいと感じる児童 100%

- ★めあてをもって運動に取り組む児童 80%以上
- ★「我が家のスマートルール」を設定し活用している家庭80%以上

- ★地域の人たちと関わった教育活動を実践した教員90%以上
- ★学校の情報が適切に公開・発信されていると感じる保護者80%以上

＜業務改善のための取組＞ ○行事や体験活動等の見直しと学びを深めるための実践の工夫 ○保護者、地域、外部機関等と共通理解と連携
○事務的な校務のデジタル化 ○時間設定、資料の事前提供等による会議の効率化